

平成26年11月28日

各位

会社名 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
代表者名 代表取締役社長 鈴木 郷 史
(コード番号:4927 東証第一部)
問合せ先 取締役広報・IR担当 藤 井 彰
(TEL. 03-3563-5517)

固定資産の譲渡および特別損失の計上ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成26年11月28日開催の取締役会において、平成26年12月期第4四半期に固定資産の譲渡および、当社の連結子会社に係る特別損失を計上する旨の決議を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。これに伴い、平成26年11月4日に公表した通期業績予想を修正いたしますので併せてお知らせいたします。

記

1. 固定資産の譲渡について

1) 固定資産の譲渡理由

当該不動産は、1989年に取得し、賃貸オフィス用ビルとして運営してきましたが、経営資源の集中を図り当社グループの企業価値を最大化する観点から、このたび譲渡することといたしました。

2) 譲渡する資産の内容

資産の内容及び所在地	譲渡価額	帳簿価額	現況
ポーラ第3五反田ビル 東京都品川区西五反田8丁目9番5号 土地：1,840.57㎡および建物	5,930百万円	3,977百万円	賃貸用不動産

3) 譲渡の相手先の概要

譲渡先は国内法人1社となりますが、先方との守秘義務契約により公表を控えさせていただきます。また、譲渡先と当社との間には、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者として特記すべき事項はございません。

4) 譲渡の日程

- (1) 取締役会決議日 : 平成26年11月28日
- (2) 譲渡契約締結日 : 平成26年11月29日
- (3) 物件引渡日 : 平成26年12月(予定)

5) 業績への影響

当該固定資産の譲渡に伴い、当連結会計年度において特別利益およびこれに係る法人税の減少として総額約7,100百万円を計上する予定です。

2. 特別損失の計上について

当社の連結子会社 H20 PLUS HOLDINGS, INC（本社：米国デラウェア州）に係る有形および無形固定資産の減損損失約 6,200 百万円を平成 26 年 12 月期第 4 四半期に計上いたします。

同社の主要展開国である米国において、中長期視点でのブランド戦略変更に伴う流通政策の見直しを実施した結果、足元の業績は当初計画から乖離しております。

また、重点国に位置付けている中国においては、今期より現地に精通したマネジメント陣に変更するなど組織体制を強化し、営業活動の立て直しに取り組んでおりますが、成果が現れるには時間を要します。

こうした状況に鑑み、翌期以降の中長期的な事業計画および同事業が生み出す将来キャッシュ・フローを見直し、減損テストを実施した結果、上記の通り減損損失を計上することとなりました。

今後は、商品・流通などのマーケティング戦略を抜本的に見直し、ブランド訴求力を高め業績の改善に努めてまいります。

3. 平成 26 年 12 月期通期連結業績予想の修正（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 198,000	百万円 17,650	百万円 17,900	百万円 8,800	円 銭 159.18
今回修正予想（B）	198,000	17,650	17,900	9,700	175.46
増減額（B－A）	－	－	－	900	
増減率（％）	－	－	－	10.2%	
(参考)前期実績 (平成 25 年 12 月期)	191,355	16,017	17,836	7,318	132.39

修正の理由

上記 1. の固定資産の譲渡に伴う特別利益とそれに伴う法人税の減少および、上記 2. の特別損失により、前回発表した当期純利益の予想数値から、900 百万円増加する見込みです。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因の変化により、予想数値と異なる可能性があります。

以上